

60

2020.9.10

千葉市中央区末広5-8-6
大松ビル302
tel:043-305-1213
責任者:藤澤 里子

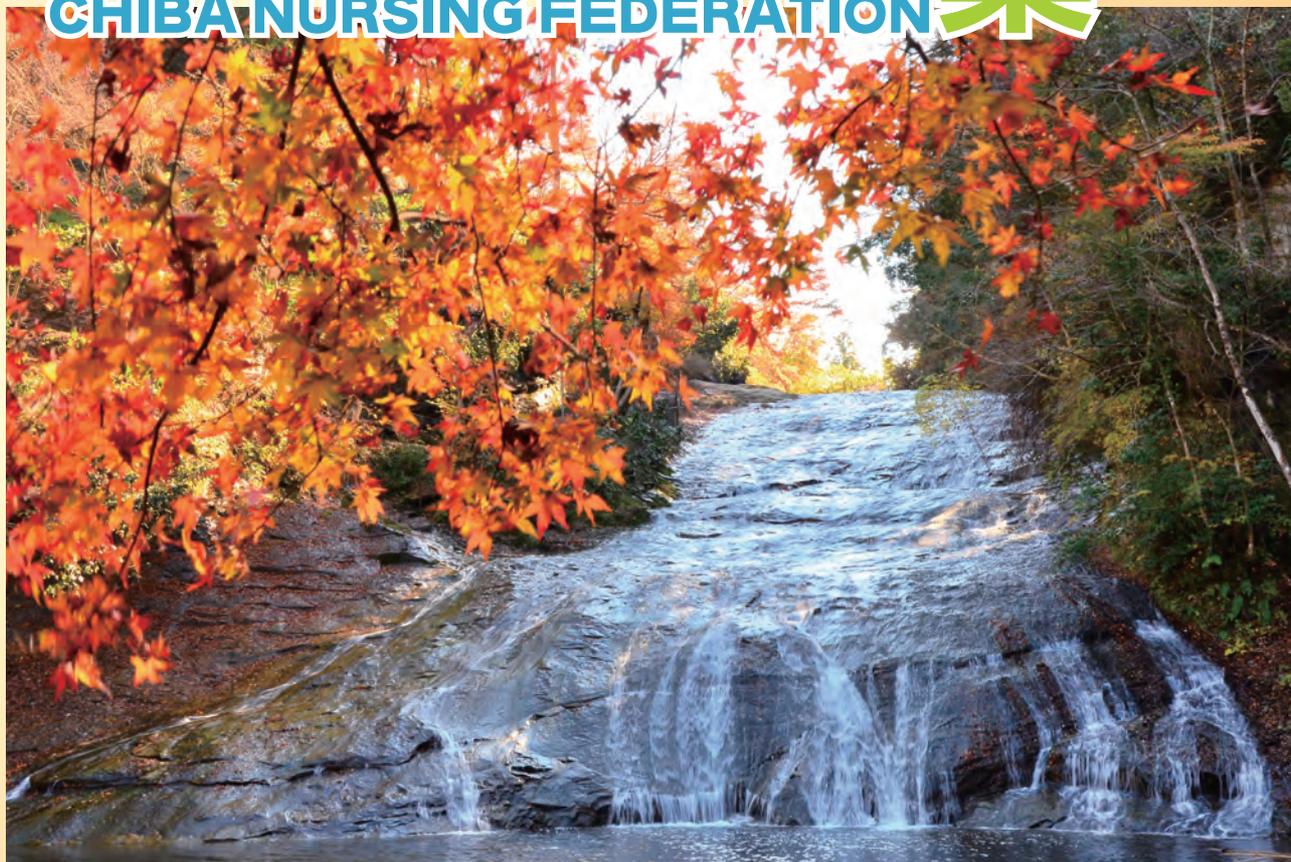
れんめい千葉へは
こちらからアクセス!!
→



れんめい千葉

千葉県看護連盟

CHIBA NURSING FEDERATION



▲栗又の滝(大多喜町)



千葉県看護連盟 副会長
嶋村 有子

残暑お見舞い申し上げます。

この夏は未知の新型コロナウイルスの来襲により、特別な夏となってしまいました。

日々、医療・介護の現場、地域などの最前線で新型コロナウイルス感染症のケアや予防に携わる皆さまに心から敬意を表します。

また、日頃から千葉県看護連盟の事業活動にご理解ご協力いただき、心より感謝申し上げます。

さて、千葉県看護連盟の7月末会員数は2,747名で、昨年より減少しております。最近の課題は、会員増による組織強化です。

看護連盟の新スローガン「届けよう看護の声を!私たちの未来へ」

この想いに共感していただける会員を募集しています。

withコロナの中で看護職の役割は、さらに社会に周知されることとなりました。

しかし、現場では様々な苦難に今も直面している仲間がいます。この難局に看護連盟は何ができるのか?連盟の役割を考え、看護職が専門職として自信と誇りを持って働くことができるように、皆さまと共に考えていきたいと思っております。

どうぞ皆さまのご意見を千葉県看護連盟にお届けください。

これからも引き続き、千葉県看護連盟へのご支援・ご協力お願い申し上げます。

「国政活動報告」

先般の新型コロナウイルス感染症対策への皆さまのご尽力に、心より感謝申し上げます。新型コロナウイルス感染症へは長期的な対応が必要となって参りました。これからも、看護職の皆さまには、現場や生活全般において大変なご苦労・ご負担をおかけすることになりますが、看護職支援の充実に、更に努めて参ります。

国会においては、最前線にいる看護職を守るため、病院、訪問看護ステーション、介護福祉施設等への防護具確保だけでなく、生活を守るための医療従事者への慰労金確保に奔走しております。平穏な日々が戻りますよう、国政にて精一杯活動して参ります。引き続きご指導賜りますよう、よろしくお願いいたします。



衆議院議員
あべ 俊子



自民党文部科学部会長
参議院議員

たかがい 恵美子

爽秋の候、千葉県看護連盟の皆様におかれましては、ますますご清祥のことと存じます。今夏は新型コロナウイルス感染症対策において、いのちの最前線で活躍する看護職の皆様の多大なるご貢献に深く感謝を申し上げます。

いま私たちは、人の優しさや思いやりを分断する狡猾なウィルスと対峙しています。様々な葛藤を抱えながらも互いを励まし支え合い、活路を見いだしていこうとがんばっています。先の経済対策では、看護職の安全な就業環境の確保と手厚い報酬の担保、広域調整システム構築への補助、看護職の家族への保育や介護等の支援と就業継続支援、学校養成所等における実習等の弾力化など数多くの緊急措置を実現しました。

最前線に立つ仲間の笑顔を守るため、これからも皆様と歩調を合わせて地道に歩を進め、看護政策の結果を出していきたいと考えています。



日本看護連盟
会長 大島 敏子

千葉県の会員の皆様 こんにちは。

コロナ禍にすべての看護職が、今迄以上に感染に注意し最善の努力をして下さっていることに、敬意と尊敬と感謝をしています。

日本看護連盟は、スローガンの選定後、4月以降コロナ対策として、様々な動きをしてきました。日本看護協会は政府に、連盟は自民党にと役割分担し、危険手当や慰労金支給を要望し実現してきました。メディアを含め、多くの社会の皆様にご支援を頂いたので、青年部が『ありがとうにありがとう』の動画を配信しています。

60周年の還暦を迎え創立時の目的通りに、看護協会の政策実現をめざし、看護職の地位向上に向かい更なる政治参加に邁進します。

先輩看護職が築いてきた歴史を、共に継続してゆきましょう。

千葉県看護連盟のみなさま、日頃よりご支援を賜りありがとうございます。
医療・介護の現場をはじめ様々な場で、そして家庭のおいても未だ新型コロナウイルスと戦いが続き、絶え間のない不安な日々をお過ごしになられていると思います。今年はこれまでに、現場から多くの声をいただき、課題の解決のため活動し続けてまいりました。

その結果、第二次補正予算では、看護職への慰労金給付をはじめ、病院への補助金、医療用マスクなどの調達強化、通院に必要な地域公共交通の感染防止対策補助金等を実現することができました。

日本の医療にとって、国民を守るために重要な局面は続きます。私も、引き続き活動を続けて参りますので、力を合わせ看護の力でこの未曾有の危機を乗り越えていきましょう。



参議院議員

石田 まさひろ

総務大臣政務官
衆議院議員

木村 やよい

千葉県看護連盟の皆さま、こんにちは。

コロナ禍において、現場で医療崩壊を食い止め、頑張っておられます全ての看護職の仲間たちを誇りに思います。

自民党では、令和3年度の予算の柱となる「骨太方針」が示されました。感染症対策、自然災害対策が主流となりましたが、やはりこれからの医療の在り方、来春改定となる介護報酬等、尊厳とQOLをまもる、いわゆるウェルビーイングという視点を含めた議論を進めていきたいものです。地域保健機能の強化については、私が政務官でいるうちに土台作りをする所存です。

withコロナ、afterコロナの日本の看護・医療提供体制整備に向けて努力してまいります。日本の医療と看護職の皆さまの労働環境と健康を守れるよう頑張ります。

公益社団法人
千葉県看護協会

会長 寺口 恵子

新型コロナウイルス感染症が猛威を振るう中で、皆様には熱中症にも注意を払いつつ、益々ご活躍のことと存じます。

私こと6月23日定期総会・理事会において会長として承認され、2期目を勤めさせていただくこととなりました。引き続きご支援・ご協力をお願い申し上げます。

さて、今般の新型コロナウイルス感染症の感染拡大により、県民の生活、経済活動、社会の機能に大きな影響を及ぼし、医療・介護の現場、地域などで新型コロナウイルス感染症のケアや予防にあたっておられる看護職の皆様には心から敬意を表します。

千葉県看護協会におきましても、看護連盟との連携を密に取り、県行政・県議会議員への要望を積極的にしているところですので、会員の皆様の『現場の声』をお寄せいただきたいと存じます。コロナの影響でいろいろ大変のことと思います。コロナと共存する生活様式は不便さも多々ありますが、皆で力を合わせこの難局を乗り越えてまいりましょう。

「新型コロナウイルス感染症との闘い」

～多職種と連携した地域活動～

社会福祉法人
九十九里ホーム病院 青木 和代

現在、多くの病院が、新型コロナウイルス感染症に関して、日々変わる状況への対応に苦慮されていることと思います。

令和2年3月、市内で初めての感染者発生や東庄町の障害者施設でのクラスター発生は私達に大きな衝撃を与えました。そして、冷静で正確な情報収集がいかに大切であることを強く思いました。

当院においては、COVID-19患者の受け入れは現時点ではまだありませんが、感染拡大の状況に応じ、入院病床確保の為に体制作りを協力する予定となっています。

全国的に見ても着実に感染者が増加しているなか、令和2年8月8日(土曜日)香取・海匠保健所管内で各消防署、総合病院国保旭中央病院、国保多古中央病院、九十九里ホーム病院、5施設による病院間搬送訓練が行われました。事前打合せ、現場の確認、シナリオ作成、多くの職員が実践訓練は初めてで緊張しながらの参加でしたが、医療機関相互の連絡体制や対応者のPPE着脱、救急搬送ルートの再確認など多くの事について学ぶ事が出来ました。

又、地域での各機関、病院間の情報交換も大切であると感じました。今後も、変化を重ねながら新型コロナウイルスとの闘いは続くと思います。想定外の状況下でも慌てずに、正しく業務を進めて行く、その為にもマニュアルやシステム等を適切に管理しておく。そして事例を交え日々訓練を積み重ねておく事も大切であると考えます。今回の訓練を通し、何よりも職員1人1人が新型コロナウイルスに対し前向きに協力体制が取れるような職場の雰囲気作りが必要であると思いました。



訓練の様子

新型コロナウイルスとの闘い

千葉市立青葉病院 感染対策室 感染管理認定看護師 鈴木 美保

千葉市立青葉病院は感染症病床6床を有する、第二種感染症指定医療機関です。当院はこれまでに2009年に新型インフルエンザ、2015年に中東呼吸器症候群(MERS)の感染者および疑い患者の診療を担いました。私が新型コロナウイルス(COVID-19)を知ったのは、2019年12月、WHOに中国武漢市で原因不明の肺炎が通知されたというニュースです。「これは今までとは違う、まずいな。」と思いました。年が明けてすぐに、発熱外来の設置を提案しました。発熱者と一般外来を区別する診療体制の構築が必要と考えたからです。

それからは各部署への説明・指導に当たる日々が続きました。COVID-19陽性者が入院してからは、感染症病棟のスタッフのために出来る限りの環境を整えるよう尽力しました。4月には発熱外来、感染症病棟ともにCOVID-19流行第1波のピークを迎えましたが、それまでに構築した体制のもと乗り切ることが出来ました。

7月は第1波を超えるCOVID-19陽性患者を受け入れていますが、病院内は穏やかに感じます。それは決して慣れたからではなく、全職員が「千葉市民を感染症流行から守る」という青葉病院の責務を自覚しているからだと思います。COVID-19との闘いは長期戦になりますが、青葉病院は職員一丸となって立ち向かいます。今後とも近隣医療機関からのご協力がいただけますように、お願いいたします。



3月 千葉市保健所とのドライブスルーPCR検査の様子

「当院の新型コロナウイルス感染症との闘い」

国保直営総合病院君津中央病院 看護局長 秦野 康子

当院は、千葉県の感染症指定医療機関として、新型コロナウイルス(以下COVID-19)感染症対策の役割を担っております。当初は、感染防御物資の不足に奔走しておりましたが、現在は、各方面からのご支援もあり感染防御物資は、不安ながらも確保されてきております。

現場の担当看護師達は、マスクやゴーグルの圧迫で顔に皮膚剥離を起こしながらも黙々とその役割を果たし、ECMO(体外式膜型人工肺)を使用する重篤なCOVID-19患者は、知識と経験を基に担当看護師が役割を果たしてくれております。「怖いです」「感染しないか不安です」「同居している子供や高齢の親など家族が心配です」等の本音を胸に、覚悟と使命感を持って働いてくれる看護師達に、感謝しかありません。現状では、担当看護師達の暑さ対策や長期化に伴う身体的・精神的負担軽減の対応に苦慮している状況です。また、当院は地域の基幹病院であり、三次救急病院として一般診療の患者や救急患者の受け入れにも対応しなければなりません。刻々とCOVID-19の陽性者が増える中、医療従事者としての使命を果たそうと一丸となって闘っております。

この度の「千葉県新型コロナウイルス感染症対応従事者慰労金交付事業」には、大いに期待していると看取しております。今後も、君津医療圏の医療崩壊が起きないように行政と協働し、看護連盟・看護協会のご支援を頂きながら、当院の使命を果たして参りたいと思っております。



の現状報告

カンナ・ナーシングホームかわど 管理者 福井 みさ江



ソーシャルディスタンスを保つため、机の間をあける。
お互いが手を伸ばしても触れない距離



マスクが行方不明になるので、
一人一人のマスクケースを作りました



ボランティア団体や利用者様ご家族から
いただいた手作りマスク

看護小規模多機能型居宅介護は、「通い」「訪問」「泊り」を組み合わせ、その方に必要なサービスを一手に担っています。当事業所では、これまで幸いにも新型コロナウイルス感染者の発生はありませんでしたが、もし、クラスターが発生し、休業せざるを得なくなると、たちまち利用者の生命や家族の生活に支障を来たしてしまいます。近隣の事業所にサービスの依頼しようとしても、医療依存度の高い方に複合的にサービスを提供できる事業所はありません。市中感染化している現状では、いつ感染者が発生してもおかしくない状況です。そして収束の見込みは立っていません。こういう現実の中で日々不安を抱えながら、看護・介護の仕事をしていることを為政者や行政の方々にはもっと理解していただきたいと思います。感染対策と事業の継続を求めただけなく、介護事業所における

クラスター発生時の行政の対応や支援体制等を明確に打ち出してもらえると不安感が軽減すると思います。また、感染対策を徹底するには経済的な負担も多くなります。今月に入り、やっと国のほうから「新型コロナウイルス感染症緊急包括支援事業」として事業所支援金や従業者慰労金が交付されることになりました。コロナの影響で減収となった事業所も多く、ありがたい支援です。今後も必要な支援をしていただけることを切に願うとともに、非常事態につき、早く現場に届くことを希望します。

新型コロナ感染症との闘い

訪問看護ステーションひとみ 小宮山 日登美

新型コロナウイルスに係る影響を受けられている、すべての皆様にお見舞いを申し上げます。

当事業所もその影響を受け、様々な対応を強いられています。その中で難しかったのは、訪問の可否を含めた状況判断と、物品の不足への対応、所内感染防止・事業継続のための体制づくりでした。

訪問の可否を含めた状況判断とは、この状況で訪問看護を継続するべきかどうかです。特に第1波の時はウイルスの特性も不明で、自分たちが訪問することによる感染リスクがわからず判断に難渋しました。利用者からのお断りは意外に少なく、どちらかといえば職員の不安が増大しているという状況でした。結局、自治体からの訪問要請が基準となり、「訪問していいんだ」という結論になりました。もちろん看護を必要としている方々に行っているのですが、有事の際、その必要性和リスクの判断基準がないというのは制度や法律に則って動く私たちの活動に迷いを生じさせました。

物資の不足や、事業所の密を避ける対応(直行直帰・リモート連携・新たな事務所を借りるなど)対応は、費用もかかり、事業所存続の危機と言ってもよい状態です。新型コロナ感染者を受けている病院の物資不足状況を考えると、行政の対応が在宅まで回らないのも仕方ないと思いながら、代替品でしのぎ、職員の気持ちをなだめるのも辛いものです。

そのような中、千葉県訪問看護ステーション協会会員の事業所で困っていることを集め、看護連盟を通じて木村やよい議員に回答をいただいたことは、大変力になり助かりました。病院や施設と異なり小さな事業所がほとんどのため、行政や制度上の対応が困難なのです。看護連盟と政治・地域看護のつながりを、政治を通して強化していく大切さを感じ、連盟活動に生かしていこうと思いつきながら、今も新型コロナと闘っています。

新しい時代に「新しい働き方」をもたらしたCOVID-19

東京ベイ・浦安市川医療センター 看護部 教育担当師長 岩崎 景子

今回COVID-19に混乱した中で、ふとF.ナイチンゲールが『看護覚え書き』で述べていたことを思い出した。奇しくも今年はナイチンゲール生誕200年という記念すべき年である。現代の私達が、今更感染症対策に新たな発見することは、残念ならなかった。感染症対策は、手を洗い、マスクをして、ソーシャルディスタンスを保つこと。有効な感染症対策は、200年前と変わらずに、これだけなのである。

では、現代の私達がナイチンゲールを唸らせることができるのはなんだろうか。それは、「リモートワーク」ではないだろうか。ベッドサイドを仕事の大半としている看護師は、リモートなんてありえないと思われるかもしれない。しかし実際は、重要な会議が多数行われ時間が奪われている。これをリモートにできるのだ。会議の移動や仕事を整理し、一人のベッドサイドケアの時間を創り出すことにつながった。

今回の感染症は、新人育成に関しても大きな課題を与えてくれた。新人等の動向が見えない中、どの程度感染対策に対し認識があるかわからなかった。卒業旅行で海外に行っている者も少なからずいることが考えられ、全員が罹患していないという保障もなかった。直前まで議論の末、突如4月1日から2週間リモート研修をすることにした。これに柔軟に対応してくれた新人には、本当に感謝したい。

今、私達は時代に分かれ道にいる。得意とは言えないが、リモートワークに果敢に取り組んで時間を有効に使うことを選択するか、今までのように身支度や移動に時間を取り続け、時代から取り残されることを選択するか。選んだ結果は、200年の時を経ずに評価されるであろう。私は、ベッドサイドと管理の間で看護師として有意義な時間を過ごし、ナイチンゲールが創り出した近代看護を発展させていく一人でありたいと、強く思う。

千葉県看護連盟から要望提出

千葉県看護連盟会長 藤澤 里子

新型コロナウイルス禍に対して 千葉県看護連盟はどのように動いたか

新型コロナウイルスの感染拡大はまさに青天の霹靂でした。聞こえてきたのは、感染患者さんを引き受けざるを得ず、戦いともいふべき取り組みで、責務と一言では片付けられない困難な対応でした。

3月下旬以降感染者が急速に拡大し、連盟として対外的に何ができるのかを考え、取り組みを行いました。主な取り組みは以下のとおりです。

- ① 3月下旬 5施設から状況の聞き取り。まず把握したのは防護用品の極端な不足でした。県担当課へ状況を電話し対応を求める。
- ② 4月3日 訪問看護ステーション等数施設にマスクの配布と状況の聞き取り
- ③ 4月7日～ SNSで県会議員と意見交換
- ④ 4月20日 「新型コロナウイルス対応の困難状況を届けてください」
会員施設へ一斉FAX。呼応して届いた内容はあまりにも厳しい現場の状況と看護師の不安、恐怖、悩みの叫びでした。
- ⑤ 4月22日～ 県担当課へ予防具の不足している施設へ配布依頼
- ⑥ 4月27日 自民党看護問題対策議員連盟阿部紘一会長をはじめとして看護連議員40名に要望書を提出。危険手当等の要望に添えて、呼応して届いたFAXの内容の実態改善を訴えました。議員の心にも深く届き、保健医療福祉部へ再三の声掛けを行っていただくことに繋がりました。
その後いったん感染拡大状況は落ち着いたかに見えましたが第2波がきました。
- ⑦ 7月上旬 数施設へ状況と要望を届けてくださいと依頼。それを基に議会に向けた要望書を作成
- ⑧ 看護問題対策議員連盟阿部紘一会長へ8項目の要望書を提出

- COVID-19に関わる看護師で希望者にPCR等の検査を無料で実施
- 一時金ではなく、日々の危険手当を県の補助金で支給(2000円～3000円/日)
- COVID-19に関わる看護師に特別休暇を付与
- 感染防護に必要な衛生材料の適切な配給
- COVID-19に関わった看護師のための総合相談窓口の設置
- COVID-19に関わる看護師の子供たちが差別されない対策(院内保育等の条件の緩和)
- COVID-19に関わる看護師の研修の実施

8月6日 看護問題対策議員連盟阿部紘一会長と議会対応に向けた話し合い

- ⑨ 引き続き困難状況を届けていただきたく、施設ではなく全会員へメッセージを入れて暑中お見舞いのハガキ

この間、看護系国会議員へは、随時メール、FAXで状況を届け続けました。議員も危険手当(20万円)をはじめとして本当によく動いてくださいました。

残念ながら他県と比較して感染者数が多い状況にもかかわらず、危険手当等看護職への千葉県の対応は要望への回答もまだ得られず、これらのことについては今後も引き続き要望してまいります。



◀セキセイインコ

宇宙(そら)ちゃん

コロナで外出できず
子供が楽しく過ごせる
ように4か月前から
飼っています。

飼い主：園田亜希さん
(勝田台病院 看護師)

CO L U M N

みんなを元気に
する広場

「ペット編」



◀フクロウモンガ めいちゃん(女の子)

活発で好奇心旺盛、
猫じゃらしで遊ぶのが
大好きです。

飼い主：内田さやかさん
(勝田台病院 看護師)

あなたのかわいいペットをれんめい千葉で自慢しませんか？ペットだけでなく料理や風景の写真なども募集しています。
メールアドレス：kanjichou01@kangorenmei-chiba.jp

新役員・支部長の紹介

幹事

千葉県看護連盟 幹事の松村幸美と申します。

看護連盟は、「看護師の労働問題・国民の健康問題の解決には国政をどう活用するか」そのために活動をする組織だと知り連盟会員になりました。

43年の現場での仕事を終えた今、これからは外から看護職を支えていくことができる看護連盟で仕事をしようと決めました。どうぞよろしくお願い申し上げます。



松村 幸美

東葛支部 支部長

新型コロナに立ち向かう東葛支部看護職の現場の声を発信し、千葉県看護連盟を通じて政治を動かす力に繋げていきたいと思います。より良い職場環境を築き、一日も早く看護職が平常心と笑顔を取り戻し、いきいきと看護できるよう活動していきたいと思います。



猪俣 英子

そのためには会員確保が重要課題です。看護連盟の必要性を理解していただき、一人でも多くの皆さんに会員になっていただけるように働きかけていくことができればと思います。

市原支部 支部長

この度、市原支部の支部長に任命頂き、光栄に思うとともに、身の引き締まる思いでいっぱいです。はなはだ微力ではありますが、千葉県看護連盟の活動とあわせて看護職の皆様へ貢献できるよう努めて参ります。どうぞよろしくお願い申し上げます。



木崎 慎一

船橋支部 支部長

今年度より船橋支部長を務めさせていただきます西川真由美と申します。

わからないことばかりですが、皆様方にご指導いただき、学んでいきたいと思っております。看護連盟の業績と役割を日々伝えながら、会員増員の普及活動等行っていきたいと思っております。



西川 真由美

コロナ禍で制限されてはおりますが、精一杯努めてまいりますので、よろしくお願いいたします。

君津支部 支部長

このたび、君津支部支部長を務めさせていただくことになりました。

今年は、新型コロナウイルス感染症の影響から様々な活動が制限されています。想定外な状況だからこそ、安全な距離を保ちつつ、人と人が力を合わせ困難を乗り越えることが大切だと思います。

支部長として連盟活動を計画し実践する側に立つのははじめてですが、支部メンバーの方々と皆さんに役立つ研修、および会員確保に努めていきたいと思っております。

どうぞよろしくお願い致します

小川 純子

松戸支部 支部長

今年度より、松戸支部の支部長を務めさせて頂くことになりました。

新型コロナウイルスに不安を持ち働いておりますが、一人一人の看護師が不安なく、誇りを持ち働き続けられるようお手伝いが出来ればと思っております。



宮本 祐子

そのためにも看護連盟の活動を理解してもらえよう、努めていきたいと考えております。

どうぞ、よろしくお願い致します。

長夷支部 支部長

この度、長夷支部支部長の任を拝しました、公立長生病院看護部長の谷口と申します。

コロナ禍で働く看護職の実際を目の当たりし、連盟の重要性を再認識致しております。制約の多い立場ではございますが、自分が出来る事に全力で取り組んで参りますので、ご指導ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。



谷口 弘

令和2年度会員募集

組織力強化のために
あなたの力が必要です

現場の“声”を聞かせてください。

- 看護連盟会員入会受付中！
- 賛助会員も受け付けています。

3000人を
目標にして
おります。



会員数 **2,753名**
日本看護連盟会費 / 5,000円
千葉県看護連盟会費 / 5,000円

賛助
会員数 **83名**
年会費 / 1,000円

学生
会員数 **0名**
年会費 / 無料



問合せ先 千葉県看護連盟事務局
〒260-0843 千葉市中央区末広5-8-6 大松ビル302 TEL:043-305-1213 / FAX:043-305-0205
ホームページ <http://www.kangorenmei-chiba.jp/>

日本看護連盟広報委員会 アンケート調査 ご協力のおねがい

日本看護連盟看護連盟広報活動における課題を明確にし、今後の効果的な広報活動に繋げていくことを目的としてアンケート調査を実施しています。



実施方法

調査期間：2020年9月1日～9月30日
方 法：日本看護連盟HP上にて
(ID・パスワードなし)
対 象：日本看護連盟会員等

ご協力頂きますよう、お願い致します。

特許取得済

ホームページをリニューアルしました

信公 ぴったりシート

検索

<https://www.t-shinkou.co.jp/>

ネット注文出来るようになりました (クレジットカード)

使った瞬間から、快適なベッド環境に
シワにならない 医療用ボックスシート



全国の在宅医療の分野にも、どんどん広がっています！



日本訪問看護財団 法人会員
株式会社 信公

〒341-0054 埼玉県三郷市泉3-3-17
TEL : 048-953-3100 FAX : 048-953-1405
Mail : pittari@t-shinkou.co.jp

スマホの方はこちらからどうぞ



東洋羽毛

睡眠セミナー無料サービスのご案内

よく眠った人には、かなわない。

＊—— 今よりもぐっすり、幸せな毎日のためのヒントがきっと得られるはずです —— ＊

睡眠セミナー講師を無料で派遣いたします。

東洋羽毛では「睡眠健康指導士」の資格を有した社員が講師を務める充実したセミナーをご用意しています。正しい情報を得て睡眠習慣を見直し、イキイキと健康的な毎日を歩むお手伝いをさせていただければ幸いです。

《お役に立てる主な研修》

- ★医療安全対策研修
- ★メンタルヘルス研修
- ★学校保健委員会
- ★高齢者の睡眠ケア

水と、空気と、睡眠と。



東洋羽毛イメージキャラクター 桃井かおりさん



東洋羽毛北関東販売(株) 千葉営業所

千葉県佐倉市城354-8
0120-006745